授業科目名	クリティカルケア看護特論Ⅰ *Advanced Studies in Critical Care Nursing Ⅰ*			担当教員	
開講年次	1年前期	セメスター	1	時間数（単位数）	30（2）
必修選択	専攻領域必修	授業形態	講義	使用教室	

授業の目的	クリティカルケア領域で、ストレスフルな体験をする患者および家族の危機状況をアセスメントし、看護介入するための理論やモデルを理解する。
到達目標	1．理論に基づきクリティカルケアの対象となる患者や家族の心理社会的特徴を理解する 2．理論に基づいたアセスメントをもとに、クリティカルケア領域における患者や家族に対する高度な看護実践を考究する 3．クリティカルな状況にある患者とその家族の心理社会的状況を踏まえた地域連携を探究する

DPとの関連	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6（保健）	DP6（CNS）	DP7（CNS）	DP6（助産）	DP7（助産）	DP8（助産）
	○	○					◎				

授業計画	1回：危機に関する概念と危機理論の成り立ち 2回：危機介入の目的と方法 3回：危機状況の患者・家族を理解するための理論やモデル①危機理論・危機モデル 4回：危機状況の患者・家族を理解するための理論やモデル②危機理論・危機モデル 5回：危機状況の患者・家族を理解するための理論やモデル③ストレス・コーピング理論 6回：危機状況の患者・家族を理解するための理論やモデル④ストレス・コーピング理論 7回：危機状況の患者・家族を理解するための理論やモデル⑤家族発達理論、家族システム理論 8回：理論やモデルを用いたクリティカルな状況における患者および家族のアセスメント事例検討① 9回：理論やモデルを用いたクリティカルな状況における患者および家族のアセスメント事例検討② 10回：理論やモデルを用いたクリティカルな状況における患者および家族のアセスメント事例検討③ 11回：危機状況にある患者および家族看護に関する研究クリティーク① 12回：危機状況にある患者および家族看護に関する研究クリティーク② 13回：クリティカルケアにおける患者とその家族の心理社会的状況を踏まえた地域連携①（ゲストスピーカー） 14回：クリティカルケアにおける患者とその家族の心理社会的状況を踏まえた地域連携②（ゲストスピーカー） 15回：クリティカルケアにおける患者とその家族の心理社会的状況を踏まえた地域連携③（ゲストスピーカー）
学習方法	高度な看護実践を提供するための知識を獲得するために、学生の臨床での経験を言語化し、それらを知識に基づいて分析した結果を討議する方法で進めていく
オフィスアワー	
テキスト	・Donna C. Aguilera：Crisis Intervention theory and methodology (7th). St.Louis Mosby.1993, 小松源助他訳：危機介入の理論と実際―医療・看護・福祉のために―．東京，川島書店，1997. ・林峻一郎編訳：ラザルス講演 ストレスとコーピング―ラザルス理論への招待．東京，星和書店，1990.
参考文献	適宜紹介する
評価方法	授業・討議への参加度（50%）、学習への取り組み・プレゼンテーション（50%）